

伊予交通情報

令和3年1月号

伊予警察署交通課
伊予交通安全協会
伊予安全運転管理者協議会

◎ 交通事故発生状況（令和2年末現在、暫定値）



(1) 伊予警察署管内

	本年	前年	増減数	増減率%
発生	91	98	-7	-7.1
死者	4	4	±0	—
傷者	99	107	-8	-7.5

○ 4件の死亡事故の被害者はすべて高齢者

(2) 愛媛県内

	本年	前年	増減数	増減率%
発生	2,404	2,811	-407	-14.5
死者	48	42	+6	14.3
傷者	2,670	3,168	-498	-15.7

○ 発生数、傷者数減少に対し、死者数は増加。死者数のうち、道路横断中が16名（横断歩道横断中が7名）

(3) 市町別発生状況

	伊予市	松前町
発生	36	55
増減	-10	+3
死者	2	2
増減	±0	±0
傷者	42	57
増減	-8	±0



(4) 高齢者の交通事故

	伊予署	県内
発生	48	973
増減	+11	-147
死者	4	35
増減	+1	+10
傷者	24	670
増減	+5	-79

【高齢者の占める割合】

- 発生件数の割合
伊予署 約53%
県内 約40%
- 死者の割合
伊予署 100%
県内 73%

(5) 安管事業所(伊予署管内)の事故

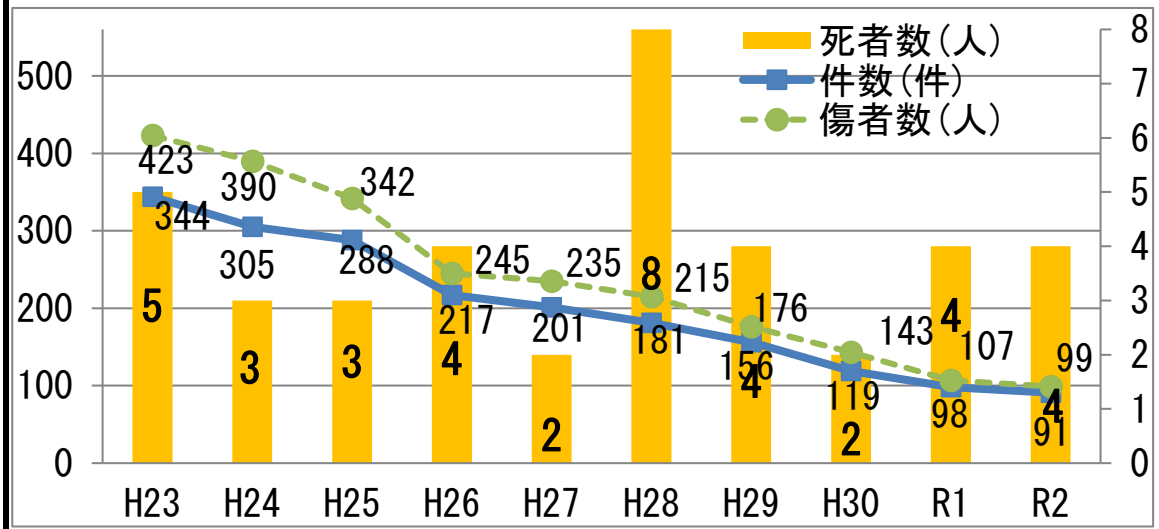
	本年	前年	増減数	増減率%
発生	11	17	-6	-35.3
死者	0	0	±0	—
傷者	5	9	-4	-44.4

(6) 安管事業所(県内)の事故

	本年	前年	増減数	増減率%
発生	493	622	-129	-20.7
死者	2	2	±0	—
傷者	230	275	-45	-16.4

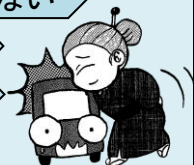


伊予署管内の交通事故発生状況の推移



《令和2年中の交通事故特徴》

- 幹線道路（国道56号、378号）で発生（約40.7%）
- スピードを出さない
- 事故原因は前後左右の安全不確認が半数を超える
- 緊張感を保つ
- 高齢者が当事者となりやすい（約53%）
- 夜間は反射材を着用
- 車両同士の追突事故が多い（約25.3%）
- 車間距離を開ける



《交通安全協会へのご入会をお願いします》

皆様からいただいた交通安全協会費は、歩行者や児童を交通事故から守る反射材や横断旗、交通安全教室用の教材、交通安全啓発看板・のぼり旗などに活用しています。